

公法の基層と現代的課題（憲法）

第2回 統治の基本原則（4月13日）

- 1 立憲主義と憲法（読本第1章Ⅰ、第18章Ⅲ）
 - （1）立憲主義
 - （2）憲法の概念
 - （3）憲法改正
- 2 権力分立と法の支配（読本第13章ⅡⅢ）
 - （1）権力分立
 - （2）法の支配と法治国家
※統治機構改革における「法の支配」論を取り上げたい。
- 3 国民主権とデモクラシー（読本第13章ⅣⅤ）
 - （1）国民主権
 - （2）公共性と世論
- 4 平和主義（読本第3章）
 - （1）憲法9条の解釈と自衛隊関連法制
 - （2）日米安保体制
※集団的自衛権について取り上げたい。

第4回 行政の組織（4月27日）

- 1 議院内閣制（読本第15章Ⅱ）
 - （1）議院内閣制
 - （2）「国民内閣制」論と政権交代
※マニフェスト選挙について取り上げたい。
- 2 行政権（読本第15章Ⅲ）
 - （1）行政権の概念
 - （2）独立行政委員会
※消費者委員会や原子力規制庁などを取り上げたい。
- 3 内閣の地位と組織（読本第15章Ⅳ）
 - （1）内閣総理大臣
 - （2）国務大臣
 - （3）内閣の補佐機構と行政各部
※「官邸崩壊」について取り上げたい。
- 4 内閣の権限（読本第15章Ⅴ、第2章、第18章Ⅲ）
 - （1）国務の総理
 - （2）外交と条約
 - （3）衆議院の解散（象徴天皇制）

第6回 立法作用と行政作用（5月25日）

- 1 立法権（読本第14章Ⅱ）
 - （1）立法権の概念
※「基本法」について取り上げたい。
 - （2）立法のプロセス
- 2 財政（読本第18章Ⅰ）
 - （1）財政国会中心主義
 - （2）租税法律主義
 - （3）予算と決算
- 3 国会の構成と運営（読本14章Ⅲ）
 - （1）二院制
 - （2）ねじれ現象
- 4 選挙制度（読本第11章Ⅰ、第14章Ⅴ）
 - （1）全国民の代表
 - （2）選挙制度
 - （3）一票の較差

第8回 裁判所（6月8日）

- 1 裁判所の地位と機能（読本第16章Ⅰ）
 - （1）裁判と司法
 - （2）大陸型と英米型
- 2 裁判所の組織と司法権の独立（読本第16章Ⅱ）
 - （1）最高裁判所
 - （2）司法権の独立
 - （3）裁判員制度
- 3 司法権（読本第16章Ⅲ）
 - （1）司法権の概念
 - （2）司法権の範囲
 - （3）裁判の手續
- 4 違憲審査制（読本第17章ⅠⅧ）
 - （1）付随的違憲審査制
 - （2）違憲審査の正統性
 - （3）司法消極主義と司法積極主義

※違憲判決のほか、司法による政策形成にも触れる

第10回 国民の権利保障（6月22日）

- 1 憲法上の権利とその限界 (読本第4章Ⅲ)
 - (1) 人権と憲法上の権利
 - (2) 憲法上の権利の制約の根拠
※法律の留保と公共の福祉について触れる。
 - (3) 憲法上の権利の制約の合憲性の判断
※二重の基準、比例原則について触れる。
- 2 表現の自由 (読本第8章Ⅰ)
 - (1) 公務員の政治的表現の自由
 - (2) マスメディアの表現の自由
 - (3) インターネット上の表現の自由
- 3 経済的自由 (読本第9章Ⅱ)
 - (1) 営業の自由とその規制
 - (2) 財産権
 - (3) 損失補償
- 4 生存権 (読本第12章Ⅰ)
 - (1) 生存権の法的性格
 - (2) 立法裁量の統制
- 5 国務請求権 (読本第11章Ⅱ)
 - (1) 裁判を受ける権利
 - (2) 国家賠償請求権